

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】平成26年11月27日(2014.11.27)

【公開番号】特開2012-125546(P2012-125546A)
【公開日】平成24年7月5日(2012.7.5)
【年通号数】公開・登録公報2012-026
【出願番号】特願2011-200991(P2011-200991)
【国際特許分類】

A 6 1 N 1/40 (2006.01)

【F I】

A 6 1 N 1/40

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月16日(2014.9.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

患者の脳内に刺激電流を誘導するための導線部を有する治療用磁気コイルユニットであって、

前記導線部を嵌め込むことにより当該導線部が所定の形状となるように形成された構造部を有するコイルケースを備えたことを特徴とする、治療用磁気コイルユニット。

【請求項2】

前記コイルケースは、前記所定の形状に形成された導線部であるコイル本体により分割される分割構造を有することを特徴とする、請求項1に記載の治療用磁気コイルユニット

。

【請求項3】

前記構造部は、溝部であることを特徴とする、請求項2に記載の治療用磁気コイルユニット。

【請求項4】

前記構造部は、前記導線部を、渦巻導線部に形成することを特徴とする、請求項1から3の何れかに記載の治療用磁気コイルユニット。

【請求項5】

前記構造部は、2個の前記渦巻導線部を形成し、それぞれの前記渦巻導線部は、一方の渦巻導線部の巻線の渦中心が他方の渦巻導線部の巻線の渦中心へ近づく方向に偏心させて構成されていることを特徴とする、請求項4に記載の治療用磁気コイルユニット。

【請求項6】

前記1組の渦巻導線部について、一方の渦巻導線部の一部が他方の渦巻導線部の一部と互いに略並行をなして重なり合うように形成されている、ことを特徴とする請求項4または5に記載の治療用磁気コイルユニット。

【請求項7】

前記1組の渦巻導線部について、一方の渦巻導線部の外周部が他方の渦巻導線部の巻線の渦中心あるいはその付近に至るまで重なり合っている、ことを特徴とする請求項6に記載の治療用磁気コイルユニット。

【請求項8】

前記1組の渦巻導線部が、所定の角度を挟んで山形をなすように傾斜している、ことを

特徴とする請求項 5 から 7 の何れか一に記載の治療用磁気コイルユニット。

【請求項 9】

前記導線部は、断面形状が四角形である導線によって巻き上げられていることを特徴とする、請求項 1 から 8 の何れか一に記載の治療用磁気コイルユニット。

【請求項 10】

前記導線部は、複数の金属線を寄り合わせて構成した導線を用いて巻き上げられていることを特徴とする、請求項 1 から 9 の何れか一に記載の治療用磁気コイルユニット。

【請求項 11】

前記導線部は、患者頭部の表面形状に沿うよう曲面を形成してなることを特徴とする、請求項 1 から 10 の何れか一に記載の治療用磁気コイルユニット。

【請求項 12】

前記曲面は、球面の一部で形成されたことを特徴とする、請求項 11 に記載の治療用磁気コイルユニット。

【請求項 13】

複数の渦巻導線部で構成された、磁界を生成する磁気コイルであって、少なくとも 1 組の渦巻導線部について、一方の渦巻導線部の巻線の渦中心が他方の渦巻導線部の巻線の渦中心へ近づく方向に偏心させて構成され、且つ、一方の渦巻導線部の一部が他方の渦巻導線部の一部と互いに略並行をなして重なり合っている、ことを特徴とする磁気コイル。

【請求項 14】

前記 1 組の渦巻導線部について、一方の渦巻導線部の外周部が他方の渦巻導線部の巻線の渦中心あるいはその付近に至るまで重なり合っている、ことを特徴とする請求項 13 に記載の磁気コイル。

【請求項 15】

前記 1 組の渦巻導線部が、所定の角度を挟んで山形をなすように傾斜している、ことを特徴とする請求項 13 または 14 に記載の磁気コイル。

【請求項 16】

第 1 の渦巻導線部と第 2 の渦巻導線部を備えた磁気コイルであって、前記第 1 の渦巻導線部と前記第 2 の渦巻導線部はそれぞれ、外形中心に対して渦中心が偏心した状態で導線を巻いて構成されており、

前記第 1 の渦巻導線部と前記第 2 の渦巻導線部は、前記第 1 の渦巻導線部と前記第 2 の渦巻導線部の一部が重なり、かつ、前記第 1 の渦巻導線部の渦中心と前記第 2 の渦巻導線部の渦中心を前記第 1 の渦巻導線部の外形中心と前記第 2 の渦巻導線部の外形中心との間に位置させて、並列に配置されている、ことを特徴とする磁気コイル。

【請求項 17】

前記第 1 の渦巻導線部の外形中心と前記第 2 の渦巻導線部の外形中心を結ぶ中心線上に前記第 1 の渦巻導線部の渦中心と前記第 2 の渦巻導線部の渦中心が位置している、ことを特徴とする請求項 16 の磁気コイル。

【請求項 18】

請求項 1 から 12 の何れか一に記載の治療用磁気コイルユニット、または、請求項 13 から 17 の何れか一に記載の磁気コイルを備えたことを特徴とする、経頭蓋磁気刺激装置

。